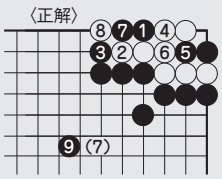
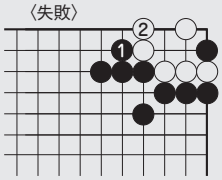
詰碁解答　（問題は69頁）

〈正解〉



黒1のツケが妙手で、この一手です。白2、4の応手には黒5のアテを決め、黒7と2目にして捨てるのが決め手。黒9のウチカキで見事に仕留めました。

〈失敗〉



黒1のオサエでは白2のサガリでぴったり生きられてしまいます。

詰将棋解答　（問題は69頁）

〈正解〉

☗1三角△同玉☗1四歩△2二玉☗3四桂△3三玉☗4五桂△同歩☗4四金までの九手詰め。

〈解説〉

初手平凡に☗3四桂と金を取るのは△1三玉と逃げられかすかに届きません。逃げられ困るところに逆に打つ☗1三角が正解。これで次に☗1四歩と押え、七手目☗4五桂が絶好手で決め手となります。

一般社団法人
全日本建設技術協会
平成30年度理事･監事等構成

会　長　大石　久和

副会長　寺本　邦一
小川　富由
小原　恒平
西倉　鉄也

理　事　西植　博
松本　直也
藤井　元生
宇賀神　義宣
北谷　啓幸
安田　博道
御園　直樹
猿田　佳三
梅澤　賢一
江幡　光博
長縄　知行
服部　洋平
小澤　雅史
片山　秀樹
王丸　義明
山口　直宏

専務理事　中嶋　章雅

常務理事　秋山　幸男

監　事　染矢　康弘
青木　秀幸

参　事　泊　宏

編集後記

本号の特集では､｢社会資本の戦略的な維持管理－未来につなげるインフラの老朽化対策－｣をテーマとして、道路、河川、公園、下水道等の維持管理の取組みを紹介いただきました。執筆者の皆様には、業務ご多忙のなかご協力いただき、ありがとうございました。この場を借りて御礼申し上げます。

人工知能やドローン、自動運転の技術もそうですが、インフラ維持管理を巡る要素技術や仕組みについても、特集記事でも紹介されたように、さまざま研究開発が進んできており、今後は、どこにどう使うかのアイデアに比重が移ってくるものと思われます。

池井戸潤氏の「下町ロケット ヤタガラス」では、近い将来、担い手を失い、危機的な状況に陥るであろう日本の農業を救うため、無人農業ロボットの開発にユーザーの利便性を愚直に追求しながら、関係者一丸となって取り組む姿が描かれています。

インフラ老朽化対策の重要性は論を俟ちませんが、持続的なインフラ維持管理のため、この国の未来のために、専門家のみならず、様々な経歴･職域の人たちが、そのクリエイティビティを生かしつつ、質を高めていくことが求められるのではないでしょうか。

今回ご紹介頂いた取組みは、各施設を代表する先進的な事例となっています。これらを参考に、各地での横展開や発展的取組みにつながることを願っております。

（副委員長　仲谷 俊昭）

月刊「建設」編集委員

委員長　遠藤　仁彦

副委員長　吉岡　大藏
星野　久史
松岡　禎典
田中　康寛
仲谷　俊昭
古澤　智昭
加島　寛章

委　員　内藤　大哲
安部　将哉
髙橋　恵理
高浜　康亘
見正　大和
鳥山　仁
川面　顕彦
北田　靖典
荒谷　義成

委　員　山﨑　荘太郎
池田　英
松井　大生
澤田　真希
白川　裕之
市川　雅代
萩原　正幸
桑嶋　健
三輪　晴文

（平成31年2月1日現在）

広告掲載に関するお問合せ先
一般社団法人 全日本建設技術協会 事業課 機関誌編集担当
TEL 03（3585）4546・FAX 03（3586）6640　E-mail：kensetsu@zenken.com

※本誌の内容の全部または一部について、法律で認められた場合を除き、無断で転載・複写等することを禁じます。

第63巻　第2号
発　行　一般社団法人　全日本建設技術協会
〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-13 ヒューリック赤坂ビル7階
TEL：03（3585）4546　FAX：03（3586）6640
URL：http://www.zenken.com/
印　刷　大盛印刷株式会社　TEL：03（3971）1246
（発行数61,200部）